

学校教育目標	【目指す学校像】	
	〇よく考える子	道徳教育を基盤として魅力ある学校をつくる。
	〇思いやりのある子	「た・な・か」の子 【 た・たくましい子 な・仲良くする子 か・かしく考える子 の・のびる子 こ・個性豊かな子 】
学校教育目標	〇たくましい子	「た(Timemanagement=時間管理)・な(Navigator=誘導者・航海士)・か(kindness=思いやり・親切)」を意識し職務を励行する教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎・基本を大切に、分 かる授業を実践し、主 体的・意欲的に学び、 基礎的な知識及び技 能等を確実に習得さ せる。	個々の学習状況を正 しく把握し、読む・書 く・計算する力を身に 付けさせる。	授業、ペーシングドリル、ぐ りーニング、日常のテスト、 力試し、補習授業等、宿題・家 庭学習等を充実させる。	4.漢字、計算の定着が85%以上 3.漢字、計算の定着が82%以上 2.漢字、計算の定着が80%以上 1.漢字、計算の定着が80%未満	4	4.全国学力 国・算全国平均 -2.5pt 3.全国学力 国・算全国平均 -3.5pt以上 2.全国学力 国・算全国平均 -5.0pt以上 1.全国学力 国・算全国平均 -5.0pt未満	第6学年全国2教科(平均 -0.8pt)だった。指導力向 上を目指していきたい。	A	ICT機器の活用を推進し て基礎基本の学習の徹 底を継続する。	
		特別支援教育を充 実させ、どの子にも分 かりやすい授業を実 践する。	市のユニバーサルデザ イン(冊子)を活用す るとともに、適切な環 境づくりをする。	4.全校で冊子のUDチェック実施11回以上 3.全校で冊子のUDチェック実施10回以上 2.全校で冊子のUDチェック実施9回以上 1.全校で冊子のUDチェック実施8回未満	4	3.児童評価 分かりやすい授業90%以上 3.児童評価 分かりやすい授業88%以上 2.児童評価 分かりやすい授業85%以上 1.児童評価 分かりやすい授業83%未満	児童評価「分かる・やる・伸びる」の肯定的回答は95ptであ った。指導方法・環境 の改善を進めていく。	B	人材不足の中でも児童 の学びと成長を推進で きる組織づくりを工夫 していく。	
豊かな心	人権意識を高め、自他 を尊重する態度を醸成 するとともに、集団の一 員である自覚、規範意 識等を育てる。	学年相応の時間(学年 ×10分)に基づいた家 庭学習を推進させる。	自己の課題克服に向 け、グッドライフ調査に 取り組ませ、宿題＋自 習学習の定着を図る。	4.各学年家庭学習実施率91%以上 3.各学年家庭学習実施率86%以上 2.各学年家庭学習実施率81%以上 1.各学年家庭学習実施率81%未満	3	4.保護者評価「家庭学習習慣あり」65%以上 3.保護者評価「家庭学習習慣あり」60%以上 2.保護者評価「家庭学習習慣あり」55%以上 1.保護者評価「家庭学習習慣あり」55%未満	児童、学級、家庭の美徳を 考慮しながら推進す ることができたが、さ らなる習慣化が課題 である。	A	実態を踏まえて課題の 学びと成長を推進でき ている組織づくりを工 夫していく。	
		児童の道徳的実践力 を高める。	道徳科の特質に即し た授業を行うとともに、 全教育活動を通して道 徳教育を推進する。	4.特質に即した道徳授業を全学級で実施 3.特質に即した道徳授業を9割の学級で実施 2.特質に即した道徳授業を8割の学級で実施 1.特質に即した道徳授業を7割の学級で実施	4	4.思いやりの心で行動が85%以上 3.思いやりの心で行動が83%以上 2.思いやりの心で行動が80%以上 1.思いやりの心で行動が80%未満	自分や友達を大切にし ているとの肯定的回答 が95ptと高かった。	B	令和7年度も道徳科を研 究教科として道徳教育 の充実を図っていく。	
健康やかな体	日常的な運動を通し て体力を向上させる とともに、健康で安全な生活 のために必要な生活 習慣や食習慣を身に 付けさせる。	教員の人権感覚を高 め、児童が安心して生 活できるようにする。	人権教育プログラムを 活用して人権感覚を チェックを年3回以上 実施する。	4.年3回以上実施した 3.年2回実施した 2.年1回実施した 1.実施できなかった	4	4.児童評価「男女の別なく仲良く」88%以上 3.児童評価「男女の別なく仲良く」85%以上 2.児童評価「男女の別なく仲良く」82%以上 1.児童評価「男女の別なく仲良く」82%未満	相談できるが90%達成。 さらに向上できるよ うな児童理解に努め る。	A	待つ・聞く・受け止める 姿勢で児童が相談し やすいようになるよう な関係性を構築して いく。	
		学校生活をより楽し いものにさせる。	授業、特別活動、交 流活動・交友活動を充 実させる。	4.楽しくする工夫をしている90%以上 3.楽しくする工夫をしているが85%以上 2.楽しくする工夫をしているが80%以上 1.楽しくする工夫をしているが80%未満	4	4.学校生活は楽しいが85%以上 3.学校生活は楽しいが83%以上 2.学校生活は楽しいが80%以上 1.学校生活は楽しいが80%未満	新しい発想の工夫で、よ り一層意味のある活 動ができることが分 かった。次年度も継 続していく。	A	楽しい田中小学校をつ くるために、これか らも新しい発想を大 切にし、交流活動 を推進していく。	
輝く未来	地域・家庭との信頼 関係を構築するととも に、児童の豊かな人間 性、人間関係調整力 を高める教育活動を 推進する。	健康で安全な生活の ために必要な食習慣 を身に付けさせる。	望ましい食習慣を身に 付けるための給食やお 弁当(食育)の日の指 導を推進する。	4.食育の指導を毎学期・年3回以上実施 3.食育の指導を年2回実施 2.食育の指導を年1回実施 1.食育の指導を未実施	4	4.食育を活用しているが80%以上 3.食育を活用しているが78%以上 2.食育を活用しているが75%以上 1.食育を活用しているが75%未満	栄養士との連携を深め、 成長の基盤となる食 育を推進していく。	B	残菜率は4.6%で、昨 年度より増加。食育 リーダーを中心に日 常の食育を推進す る。	
		将来の夢を児童にも たせる。	6年職場体験、キャ リア・パスポート等 を活用し職の理解を 深める。	4.生き方について考える機会を与えた70%以上 3.生き方について考える機会を与えた60%以上 2.生き方について考える機会を与えた50%以上 1.生き方について考える機会を与えた50%未満	4	4.将来について考えることがある83%以上 3.将来について考えることがある80%以上 2.将来について考えることがある77%以上 1.将来について考えることがある77%未満	キャリア・パスポートを 活用して、将来の自 分について考えてい けるようにする。	A	自分の将来像をイメ ージさせ、生涯学習 の基盤となるキャ リア教育をより一 層充実させる。	